

子どもたちとゆっくり過ごす時間、自分だけの時間を

おかあさんの あんな時 こんな時 そんな時 応援します

もちろん
おとうさんもOK



“子どもたちとゆっくり過ごす時間”、“自分だけの時間”を届けたいと、有償たすけあいシステム「おたがいさままつえ・やすぎ」、地域つながりセンターの「子どもの笑顔応援基金」と協同し、「おかあさんのためのレスパイト応援」に取り組んでいます。あったか元気便利用世帯のかたは1時間あたり100円でご利用いただけます。

子どもが大好きなハンバーグを作って…

「子どもが大好きなハンバーグを作ってもらえないでしょうか」という調理依頼がフードバンクの事務局に飛び込んできました。Aさんはコロナ感染の後遺症で味覚障害が長期にわたり、通院治療中とのこと。母子家庭のAさんにとって、家族3人のごはんづくりは悪戦苦闘の毎日でした。「子どもの大好きなハンバーグを」というおかあさんの願いに、フードバンク事務局は、早速“おたがいさま”に連絡、調理応援に繋がりました。(母子3人)



草刈りで気持ちもすっきり*^_^*

女手ひとつのBさんの長年の困りごとのひとつが、近所迷惑にもなっていた自宅の周りに広がる伸び放題になった草や木々の枝のことでした。忙しい毎日に加え、子どもも小さく半分諦めていたBさんでしたが、そんな時あったか元気便の食品と一緒にレスパイト応援のチラシが届きました。のべ15時間を利用したBさんは「何年かぶりにすっきりとした気持ちです。使い易い仕組みになっていて、助かりました。」と初めての利用体験を語られました。(母子2人)



ピカピカキッチンでお正月

母子家庭のCさんも、思いきって応援を利用したお一人です。お正月を前に片付けができていないキッチンの掃除を応援依頼。「ずっとストレスのひとつでした。こんなことまで、お願いしていいのだろうか」と悩みました」とCさん。でも、思い切って電話するとすぐに応援が決まり、心が軽くなりました。「毎日フルタイムの勤務で、片付けが後回し。一緒に片付けができました。」とピカピカのキッチンで、お正月を迎えることができ嬉しそうでした。(母子3人)



元気便ホームページは、
こちらからご覧いただけます

熱のある子をおいては出かけられない…

母子2人で暮らすDさんは、小学2年生の娘さんが40度の高熱を出し、おかあさんも仕事をお休みして看病されていました。食欲のない子どもに「何か食べさせたい」と思いつつ手元に現金もなく、ふらつきもある子どもをおいて、おちおちとATMや買い物にも出かけられない…と思い悩んでいましたが、思い切ってフードバンクに「どなたか食べ物の買物に行ってもらえませんか？代金も立て替えて」と

電話で相談。SOSをキャッチしたフードバンクは、“おたがいさま”にすぐに連絡し、Dさんの近くに住む応援者を手配する連携プレーで対応。

応援者のEさんは、自宅にあった大根を持参し買い物のプリンや豆腐に添えました。Dさんは、「いただいた大根が、すごく美味しかったです」と感謝しておられました。(母子2人)

子どもの運動会に参加してやりたい…

父子家庭のがんばり屋のFさんは、毎日早朝から仕事が始まり、集団登校に馴染めない小学校に通う子どもさんと保育園に通う子どもさんの送りなど、子育てと仕事の両立が大変です。

夕ご飯の作り置きなどで、時間をやり繰りします。そんな中、保育園の子どもさんの運動会に参加してやりたいと相談がありました。そこで、“おたがいさま”が同伴登校と運動会の日にFさんに代わって店番をすることに。「シングルで仕事と子どもの用が重なると、いつも困っている。基金を利用し、“おたがいさま”に、こんなことも頼めると知って本当に助かった」と喜びを語っていました。(父子4人)



特定非営利活動法人
フードバンクしまね
あったか元気便
FOODBANK SHIMANE ATTAKA GENKIBIN

家事や子育て、ちょっと休憩しませんか



■お問合せ■

あったか元気便

☎ 0852-67-7350

mail attakagenkibin@gmail.com